

前田小 ICT 研究通信

あきる野市 ICT 活用研究推進校 令和3年11月 No.2

伝え合い、学び合える児童の育成 ～ ICT の活用を通して～

第1回 校内研究授業 道徳「明るく生きる」(A 正直、誠実)

授業者 第6学年1組 教諭

★研究主題に沿った児童の姿と、ICT 活用の具体的な手立て



☆児童の反応・ファシリテーション☆

児童が伝え合い、学び合いを深めるために、「反応」を大切にしている。話し手の一方的な発言にとどまらず、聞き手となった児童が、「なるほど」「どうして」など反応を示すことで、対話的で深い学びの実現を目指した。

そのために、教師は授業のファシリテーターとして、児童の発言や参加を促したり、話の流れを整理したりすることで、児童が主体的に授業に参加し、協働的に問題解決できるように働きかけた。



☆ミライシード・オクリンクによる協働学習☆

オクリンクに2色のカードを用意し、自分が選択した方に考えを共有させることで、友達の考えを参考にしたり、新たに自分の考えをもったりすることができた。

集団検討場面では、児童の発言とともにオクリンクを提示することで、その児童の選択や考えた内容が、他の児童に視覚的に理解しやすいようにした。伝え合いを大切にするためにも、オクリンクに記入する内容を最小限にしたことで、児童の発言や反応を促すことができた。

第1回 校内研究授業を終えて

日々の授業から取り組んでいる「反応」や「ファシリテーション」によって、児童自身が「主体的・対話的で深い学び」を理解し、自信をもって学習している様子が見られた。また、ICT の活用を日常的に行うことで、スムーズにタブレットを操作したり、素早く自分の考えを入力したりできることも分かった。

授業後の協議会でも、ミライシード・オクリンクを活用した。教員が実際に操作することで、授業での取り入れ方や活用方法について話題にすることができた。今後も、ICT を活用した授業改善を図りながら、校内研究を推進していきたい。